

## 【SEG レポート 5 日目～特別編～】（本日は引率教員よりレポートします）

ボストンでの研究室訪問 1 日目です。午前には MIT の Bawendi 先生のラボ見学（研究プレゼンとラボ見学）、昼食は MIT で日本や日本語を勉強しているグループとのランチ交流会、午後は MIT の STAR ラボ訪問（研究紹介と Wind Tunnel と STAR ラボ見学）、Harvard の Ramesh ラボ訪問です。

### ○Bawendi 先生のラボ訪問

ラボの見学を行った後、研究室の Shih さんから研究室紹介や量子ドットについてのプレゼンを受けました。研究プレゼンでは、Bawendi 先生が 2023 年のノーベル化学賞を受賞した量子ドットについて興味を持った生徒が多く、関連する質問が生徒から複数出ていました。アメリカの大学で学ぶ上での英語をどのように習得していったのか等もお話ししてくださり、今後の英語学習についても考えることができる機会となりました。



### ○ランチ交流会

日本に興味を持っていたりインターン経験のある MIT の学生団体の方々と、日本の文化などについて話をしながら昼食会を行いました。それぞれのグループで日本に関する様々な話題で話をしながら、お互いに交流を深めた楽しい時間となりました。

### ○STAR ラボ訪問

LaserCommunication を研究している Hannah さんの研究紹介のプレゼンを受けた後、Wind Tunnel と STAR ラボの各研究施設を見学しました。研究紹介のプレゼンでは、かなり難解な研究内容に理解するのに苦戦している生徒が多かったのですが、頑張っって質問している生徒も。素晴らしいチャレンジです。また、ラボ見学で研究に使われている機材や施設を見せていただくことを通して、多くの実験を経て実用化されていく過程を実感する内容でした。



### ○Ramesh ラボ訪問

前半は Ramesh 研究室ではゼミに参加しました。ゲスト講演者のブラックホール研究についてのプレゼンや質疑応答を聞き、目の前で行われる研究者同士の質疑応答場面に圧倒されながら、ゼミの普段の雰囲気を経験させてもらうことができました。後半は Ramesh 先生からブラックホールについての講義、その後、日本からの博士研究員恒任さんからアメリカ留学についての話やこれまでのキャリアについて等を伺いました（日本人研究員の方ですがもちろん英語で！）。ブラックホールについての知識を深めることができたとともに、ゼミに参加させていただいたことで「研究室での生活」の一端を具体的にイメージできたラボ訪問となりました。

